

令和2年度全国統一防火標語

「その火事を  
防ぐあなたに  
金メダル」

# たかつき消防団だより



消防団に関する詳しい情報は **高槻市消防団** **検索**

第 63 号

令和2年12月15日

発行

高槻市桃園町4番30号

高槻市消防団

電話 674-7980

## 7月水災害時の活動について



樫田分団 出灰班  
班長 伏見 能成

6月11、19日、樫田地区の市道に斜面の倒木が落下、30日には樫田地区内出灰(いずりは)の民家に倒木が落下して直撃、窓ガラスが割れました。7月2、4、6、8日にも出灰地区で道路を塞ぐ事例が続きました。全て出灰地区とその周辺部です。2年前の台風による倒木が処理されずに斜面に放置されたものが道路に滑り落ちたり、土が露わになった箇所が崩れたりしました。避難勧告等もない中での被災、あるいは雨の降っていない日にも被災しているのが今年状況は深刻でした。



出灰は、いくつもの集落で構成されていますが、これが分断されて孤立状態になりました。我々は、2年前の台風の時には道路啓開作業に努めました。今回は重機なしには手も足も出ず、住民の安全確認や見えない危険箇所、気付かれていない災害箇所等を発見するためのパトロール活動に終始しました。温暖化のせい、年々豪雨や暴風の威力と頻度が増し、静かで穏やかだった地域の自然が恐怖の対象になっていることにやるせない気分になっています。同時に、消防団の役割がますます重要になってきていることを感じて身が引き締まる思いです。

## コロナ禍の定期訓練

芥川分団  
班長 白井 秀典

令和2年8月2日、芥川河川敷にて定期訓練を行いました。

今年度は新型コロナウイルスが発生したため、予定されていた訓練を延期していましたが、感染症対策を取ることにより訓練可能と判断し、再開の運びとなりました。感染症対策を取りながらの訓練は、マスクを着用し、団員とのソーシャルディスタンスを意識しながら行われました。

## 新型コロナウイルス自粛期間中の訓練及び中継送水訓練

大冠分団 大塚班  
班長 長束 重志

令和2年度に入り新型コロナウイルス感染拡大が始まり、4月7日には緊急事態宣言も発令され、感染拡大防止に気をつけて消防団活動をする様になりました。

大冠分団では普段から毎月1度、11班合同での訓練を行っています。新型コロナウイルス感染拡大後、4月から7月までの間、各班で感染防止対策をしながら自主訓練を行っています。



6月21日に以前から希望していた、中継送水訓練を大冠分団11班ある中で、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に車両4台(4班)で人数も最小限で実施しました。以前にも中継送水訓練を行った事がありますが、要領がよくわからないままポンプの操作をした為、ポンプを壊してしま

が行われ、通常とは異なる対応に苦慮しました。マスクを着用しての活動は想像以上に息苦しく、訓練当日の猛暑にも苦しめられ、熱中症にも注意を払わなければなりません。さらに参加人数も、感染症における対応はそれぞれの家庭や職場の事情があるため、通常通りとはいきませんでした。

困難な状況下で課題も多いですが、ひとまず訓練を再開出来たことを喜ばしく思います。

## 関西大学社会安全隊との交流

警手分団 古曾部班  
班長 加賀山 元

古曾部班では2018年より関西大学社会安全隊とのサークル「社会安全隊」と大学事務局公認の下で交流活動を行っています。

目的の1点目は、防災について学ぶ学生にとって「地域防災の要」消防団との交流が有益である事。2点目は、災害時、避難場所の関西大学構内への円滑な住民避難の地下作りです。



彼らとの交流では、若い情熱の素晴らしさを実感。分団主催のAED講習会では全参加者の内約25%が関大生で、後日10数名が普及員資格を取得しました。当班との月1回の合同訓練では、資機材取扱について質問を受けたり、又火災予防運動等では、関大生も拍子木を打ち、大声で広報してくれました。

今後は彼らの若い情熱を消防団活動に活かせる様に、消防本部、消防団本部と共に協力し、地域防災力の要として、貢献していきたいと思えます。

## 大阪府女性消防団員研修会

団本部  
団員 益池 友佳



令和2年9月13日に大阪府女性消防団員研修会が開催されました。今年度はコロナ禍での開催であるため、消毒や検温などの細心の注意を払いつつ規模縮小での開催となりました。

各市が活動報告と「100均で揃えられる防災グッズ」の発表を行いました。高槻市では、各家庭のミニコンロで使用する携帯用ガスボンベについて、例えば、水を沸かす際の1日1人あたりの使用量について算出し、火災予防を踏まえた必要数についての提案と、高槻市女性消防団員独自考案のダンス「365歩のマーチ」も発表されました。

避難所で一番気を使う場所であるトイレでの衛生面の確保や高齢者や子供の対応に困らないように、簡易のトイレを制作したり消臭の方法を考案したりしました。シャワーカーテンやゴミ袋を加工して目隠しや飛沫感染防止のためのパーテーションにするのはよく考えてあるなと思えました。いつまで続くかわからないこの情勢下で災害が発生した時に、どう感染を防ぐのか、衛生面を確保できるのかを考えると良い機会となりました。

## AED設置にUSP

三箇牧分団 柱本班  
班長 西口 貴司

柱本班では以前から地域の公民館前に自治会の協力もあり、AEDを設置していました。この度、リース契約を行っている警備会社との契約が満了となり、更新することになりました。ただ更新するだけでなく、もっと安心できる契約にできないかと考え、内容を変更することにしました。変更点は以下の2点です。1点目は後継機種への変更、2点目は警備会社からオンラインで管理を行うつもりで契約への変更です。オンラインでの管理とは毎日機器と警備会社間で通信を行い、異常が発生していればリモートで柱本班へ連絡が入るといったものです。

設置以来、使用されることはありませんでした。突然使用することになるかはわかりませんが、使用の際に機器に異常があり、助かるはずの命が助けられないという事があってはならないと思います。機器については最新の設備が整ったので、今後はAED講習の受講者を増やすよう、考えていきたいと思えます。





表彰

令和2年秋の叙勲

瑞宝双光章  
高井 博(元 団長)

令和2年秋の褒章

藍綬褒章  
吉田 芳(団本部)

防災功労賞

在職30年に達した者

平城 昌彦(道鶴班)  
吉本 壽典(安満班)  
鈴木 智(津之江班)  
中井 英利(津之江班)  
田中 尚之(二料班)

在職20年に達した者

井實 正幸(高槻分団)  
川居 達志(高槻分団)  
西岡 和雄(山手班)  
池下 志郎(山手班)  
岩 隆志(成合班)  
田中 克自(氷室班)  
衣笠 和典(宮田班)  
山本 隆弘(奈佐原班)  
宮本 英稔(野田班)  
置田 恒夫(冠班)  
木村 弥(冠班)  
寺本 浩伸(大塚班)  
橋長 誠(東五百住班)  
吉田 稔(西面班)

在職10年に達した者

橋本 和幸(高槻分団)  
窪田 侑記(芥川分団)  
出口 誠(梶原南班)  
圓實 純(萩之庄班)  
中西 浩二(別所班)  
久保 正幸(成合班)  
岸田 勝彦(塚原班)



文化の日記念式典

人事異動

昇任者

阿武野分団 副分団長 東 輝夫  
部長 日野 建次  
令和2年6月1日付

入団者

清水分団 萩谷班 志 隆一  
五領分団 令和2年7月1日付  
上牧班 坂井 寿豊  
梶原班 郷 岳文  
警手分団 西川 博則  
阿武野分団 小原 仁  
水室班 高谷 和良  
赤大路班 田野 雄大  
清水分団 宮之川原班 江澤 由  
大冠分団 野田班 前田 弘樹  
冠班 前田 義弘  
大塚班 赤澤 俊輔  
三箇牧分団 柱本班 石原 拓郎  
富田分団 三好 浩司  
令和2年10月1日付

退団者

阿武野分団 分団本部 近藤 規仁  
令和2年5月31日付  
三箇牧分団 三箇江班 松藤 稜真  
令和2年7月31日付  
如是分団 津之江班 竹内 啓人  
令和2年8月10日付  
五領分団 梶原班 清水 正樹  
令和2年9月30日付  
五領分団 梶原班 小西 秀樹  
前島班 橋長 尚勝  
前島班 濱下 和央  
前島班 清水 勝巳  
前島班 若林 一岳  
前島班 田端 佳史  
令和2年10月31日付

新規入団者の促進

五領分団 分団本部  
分団長 伊藤 昭久

高槻市消防団の現状を見て、団員不足と高齢化が進んでいることを痛感している状況です。私が入団した当時、所属班には16名ほどの団員がおり、災害・火災発生時には誰かが出動できる状況であったと記憶しております。しかし、それから20年が経過し、定年退団が一人一人と増えるにつれ、新規入団者より退団者が増すこととなり、現状では20年前の1/3程度にまで団員が減少しております。また、ほとんどの団員はサラリーマンであり、五領地区内で平日昼間に災害、火災が発生した際、出動することはほぼ不可能と言える状況です。



消防団員募集

これからの主な行事

- 12月10日(木)〜31日(木) 歳末特別警戒
- 1月10日(日) 令和3年年頭訓示式
- 1月17日(日) 令和2年度消防団員教育訓練
- 「幹部科 初級指導課程(救助資機材講習)」
- 3月1日(月)〜7日(日) 春季全国火災予防運動
- 3月13日(土) 大阪府消防表彰式

消防ポンプ格納庫 設置整備事業について

清水分団 大蔵司班  
班長 今村 正弘

この度、大蔵司班では消防ポンプ格納庫の老朽化に伴う屋根等の腐食、破損が見つかつたため、修繕を行っていただきました。修繕の主な内容は、屋根がかなり錆びていたため、屋根の塗装の塗り直しと、屋根の軒下のトタンが剥がれ落ちそうになっている部分の修繕をしていただきました。大きな台風がきた場合、トタンが飛ばされる危険性がありました。これからは安心です。

たかつき消防団だより 編集委員

- 委員長 榎田 渡邊 美広
- 副委員長 五領 森本 昌宏
- 委員 高槻 笠矢 智久
- 芥川 白井 秀典
- 警手 藤松 元治
- 阿武野 吉田 博道
- 清水 氏原 健司
- 大冠 中濱 博
- 如是 北島 弘之
- 三箇牧 辻 嘉英
- 富田 住田 昇治
- 団本部 小林 和子
- オブザーバー 団本部 小松 良一

機材が保管されており、また大蔵司自治会の防災用具等も保管されており、毎年6月には大蔵司自治会の皆さんと一緒に消防ポンプ格納庫前で、これらの防災用具の使い方などの防災訓練を実施しております。本年は新型コロナウイルス感染症の影響で様々な訓練等が実施できておりませんが、自然災害は待つてくれませんので、私達大蔵司班の団員はこれからも消防ポンプ格納庫を拠点として地域の防災活動に励んでまいります。

最後に今回の消防ポンプ格納庫の修繕にあたりましてご協力いただきました、高槻市消防本部、大蔵司自治会の皆様、本当にありがとうございました。

